

令和3年12月22日

保護者の皆様

旭川市立北門中学校

校長 飛弾野 文彦

全国学力・学習状況調査結果とICTを活用した授業改善等の方策について

このことについて、5月に実施した「全国学力・学習状況調査」結果から明らかになった本校生徒の課題とICTを活用した授業改善策、生徒質問紙の結果から読み取れた本校生徒のよさや課題をお知らせします。

つきましては、保護者の皆様におかれましては、今後のご家庭での指導に役立てていただければ幸いです。

1 採点結果から明らかになった本校生徒の課題とICTを活用した授業改善策

◎国語編

課題1	話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えて話す力
-----	---------------------------

改善策	<p>①学級全体やグループ活動（Google Meet、Google Jamboard等を活用した話合いも含む）の時にはルールを明示し、そのルールに従って話合いを行う。</p> <p>②司会者は、話合い活動が目的に沿って進むよう、参加者に発言を促したり、参加者の発言を整理する。</p> <p>③参加者は、話合いが課題の解決に向かうよう進め方を提案したり、話合いが効率よく進むように協力する。</p> <p>④参加者は、話合いの過程で進み具合を客観的に把握したり、それまでの話合いの経緯を振り返ってこれからの展開を考える。</p>
-----	---

課題2	書いた文章を読み返し語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く力
-----	------------------------------------

改善策	<p>① Google document等を活用し、文章を推敲する際には、読みやすく分かりやすい文章にするために、書き手としてだけでなく、読み手の立場に立って文章を整える。</p> <p>②伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、段落の分け方、段落相互の関係は適切か、全体と部分との関係はどのようになっているのかなどの観点に着目し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、文章を再度読み返す。</p> <p>③根拠の明確さ、文章の構成や材料の活用の仕方、表現の仕方などの観点を明確にし、コメント機能を活用して書いた文章を互いに読み合い、自分の表現に役立てるとともに、自分の考えを広げたり深めたりさせる。</p>
-----	--

課題3 文章の中における語句の意味を理解する力

改善策 ①文脈や叙述に着目し、語句の意味を理解する。

課題4 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ力

改善策 ①読む目的や意図を明確にする。  
②読書を通してものの見方や考え方を広げたり、読書を生活に役立てたり、読書を通して自身を向上する。  
③生徒一人一人の興味・関心を生かした計画的かつ継続的な読書活動を推進する。  
④ YouTube で生徒自身の興味がありそうな文学作品を検索し、音声言語で聞くことを通じて興味関心を更に高め、実際の本で読む味わう。  
⑤生徒自身にとってはなじみの薄い一見難解な文章であっても、表現や背景に着目して豊に読み味わう経験をすることで、他の様々な作品に対する興味・関心を喚起させる。  
⑥文学的な文章を読む場合には、幅広く文学作品に目を向けさせ、新たなものの見方や考え方を発見させたり、様々な視点から物事について考えられるようにする。

課題5 相手や場に応じて敬語を適切に使う力

改善策 ①個別的・体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを十分に理解する。  
②基本となる尊敬語、謙譲語、丁寧語について理解させるとともに、文化審議会答申「敬語の指針」に示されている尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ（丁寧語）、丁寧語、美化語の5種類について、理解する。  
③文脈から、相手や立場、状況に応じた相応しい敬語を使わせるとともに、その敬語の種類を理解する。  
④コンピュータ室のパソコンのワープロソフトを使い、敬語の直し方が正しいかどうか確かめる。

◎数学編

課題 1	関数の意味を理解する力
------	-------------

改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>①具体的な事象の中から伴って変わる2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、2つの数量の関係についての的確に捉える。</li><li>②独立変数と従属変数の関係を正しく理解する。</li><li>③デジタル教科書で具体を示し、イメージを持つ。</li></ul>
-----	---

課題 2	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明する力
------	---

改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>①事柄の特徴を的確に捉える。</li><li>②成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について、筋道を立てて説明する。</li><li>③問題の条件を変えるなどして、発展的に考察する。</li><li>④eライブラリでドリル学習を行う。</li></ul>
-----	---

課題 3	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力
------	------------------------------

改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>①事象を理想化・単純化してその特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈する。</li><li>②表計算ソフトで表や式をグラフで表し、その特徴を理解する。</li><li>③問題解決の方法を考え、それを数学的に説明する。</li></ul>
-----	---

課題 4	相対度数の必要性と意味を理解する力 データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力
------	---

改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>①表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、Google classroomにそれらを基に判断した理由を記入し、交流する。</li><li>②グラフや代表値を用いてデータの傾向を捉え説明する。</li><li>③相対度数の必要性と意味を理解する。</li><li>④日常生活や社会の事象を考察する場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する。</li></ul>
-----	---

課題 5	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明する力 ある条件下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する力
------	--

改善策	① Google Jamboard で図形を回転したり反転させたりして操作する。 ② 予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることや、条件を保ったまま図形を動かしても成り立つ事柄を見いだす。 ③ ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する。
-----	--

## 2 生徒質問紙調査から読み取れた本校生徒のよさと課題

### ◎よさ（全国平均を大きく上回っている項目）

改善策	① 自分にはよいところがたくさんあると思っている ② 将来の夢や希望を持っている ③ いじめはどんなことがあってもいけないことだと思っている ④ 友達と協力することは楽しいと思っている ⑤ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる ⑥ 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている ⑦ 数学の授業では、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている
-----	---

### ◎課題（全国平均を大きく下回っている項目）

改善策	① 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている ② スマホやゲームを使用している時間が短い ③ 1、2年生の時に受けた授業でICTを活用している ④ 地域の行事に参加している
-----	---

改善策	① 家庭と協力しながら、上川スライド30（家庭でスマホやゲームをしている時間の30分を家庭学習へスライドさせる取り組み）を推進する。 ② 今後、タブレットを持ち帰って家庭学習に取り組む等、家庭学習でもICTを活用して学習する。 ③ タブレットの使用時間や使用時の姿勢に留意し、ICTの機能を生かした個に応じた学習や協働的な学びを推進していく。 ④ 校内研修により、更なる教員のICT活用指導力を向上させるとともに、様々な活用方法を体験することで生徒のICT操作能力も向上させる。 ⑤ 地域と連携し、新型コロナウイルスが収まれば子供たちに案内していく。
-----	---